

第1回市民ワークショップの報告

◇11月2日(水)、景観アドバイザーである岩手大学農学部の中宅 諭(みやけ さとし)准教授をお招きして、奥州市の景観について考える第1回目の市民ワークショップを開催しました。

この市民ワークショップでは、地域の方々とともに、地域の景観の現状や問題点、課題等を把握し、今後の奥州市の景観形成のあり方を考えます。

◇第1回目の今回は、「景観及び景観計画とは」をテーマに、江刺総合支所で開催しました。メンバーは、市内30地区の地区振興会からの推薦や、公募による35人。

「景観」について中宅先生から講義を受け、奥州市の景観について意見交換を行った後、景観を点検する方法について学びました。



市民WSの様子

◆三宅准教授の講義

三宅准教授から、「景観からのまちづくり」と題した講義をいただきました。

「景観」は、暮らしや生産、流通など、人々の様々な活動が係わりつくられるので、農村、城下町、商業地など、それぞれの地域ごとに特徴が異なり、私たちの地域の資源や価値は、「景観」からわかりやすく見て取ることができると指摘されました。そして、『身近な景観の点検からまちづくりの課題も見つかり、これを解決することが地域をよくしていくことに繋がる』と説明され、景観とまちづくりが密接に結びついていることを強調されました。

◆意見交換

「景観」について普段考えたことがないとのことで、出だしはあまり意見が出ませんでした。しかし、次第に普段生活する中で感じている地域の良いところ、良くないところが出され、活発な話し合いとなりました。出てきた意見を少し紹介します。

<良いところ>

- ・ 神社や寺が多く歴史を感じさせる
- ・ 奥羽山脈や北上高地の眺望が雄大さと季節変化を感じさせる
- ・ 水田の基盤整備が進み整然とした眺めが良い
- ・ 北上川の眺めが良い

<良くないところ>

- ・ 街路樹の管理が悪くまちなみ景観を阻害している
- ・ まちの空地化が目立ち、さびれ感を助長している
- ・ 水田の整備が進み水生生物がいなくなった
- ・ 農地の荒廃が目立つ



意見交換の様子

◆景観点検予行演習(えさし蔵町モール)

2回目の市民ワークショップで各班ごとに景観点検を実施する予定のため、会場を移して景観点検の方法について学びました。

はじめに、三宅准教授から景観点検の方法についてポイントを説明していただきました。

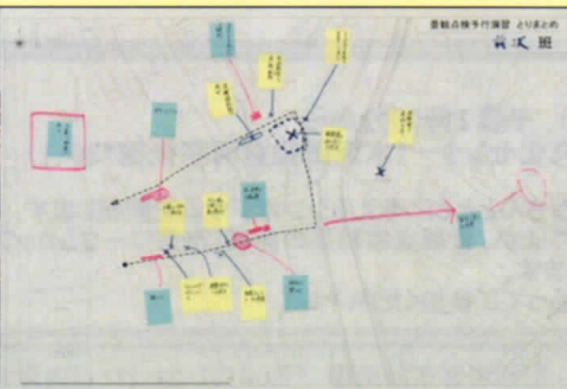
その後、班ごとに写真を撮ったり、図面にメモを取ったりしながら現地を歩いて点検しました。

まとめ作業では、メモや写真を見て、それぞれの地点の良い点、良くない点を、理由も添えてフセンに書き、図面に貼り付けていきます。

こうして作成した図面をもとに、地域ごとの課題を見つけ、解決方法を検討していくことになります。



景観点検予行演習の様子



とりまとめ図

◆景観計画とは

景観法に基づき、地域の景観を今後どのように守り育て、あるいはつくり出していかを定めるものです。

奥州市では、平成23年度から25年度の3か年での策定を予定しています。

市民ワークショップでの検討結果は、景観計画の内容に反映されます。

第2回市民ワークショップの報告

◇2回目の市民ワークショップは、11月16日(水)、17日(木)、18日(金)の3日間で開催、市内の「景観点検」を行いました。雪が降ったり、風の強い日もあったりしましたが、カメラやメモを片手に、班ごとに担当する区を点検しました。以下に点検結果の一部を紹介します。

<p>◆前沢地区 (16日午前)</p> <p>〈良いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お物見公園からの眺望 ・風情あるまちなかの坂道 ・商店の歴史性の強い看板 ・高台に屋敷林のある農家が多い <p>〈気になるところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型店周辺の緑地管理(落葉) ・建物の外壁の色 ・水田地帯に廃棄された工事資材 <p>〈悪いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号が必要な場所がある ・歴史的建造物の修繕  <p>お物見公園からの眺望</p>	<p>◆衣川地区 (16日午後)</p> <p>〈良いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長者ヶ原や衣川荘からの眺望 ・のどかな田園風景 ・橋を赤で統一し歴史性を持たせているところ <p>〈気になるところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の中の工場は植栽が必要 ・一首坂はより歴史性のある整備を <p>〈悪いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送電線と鉄塔が目立ち景観を阻害 ・ガードレールの白が目立ちすぎる ・住宅の外壁素材と色が気になる ・三面張り水路は生き物が住めない  <p>赤い橋とガードレール</p>
<p>◆胆沢地区 (17日午前)</p> <p>〈良いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らした見える田園風景 ・エグネのある散居集落 ・生け垣など緑の多い住宅地 <p>〈気になるところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エグネの管理が不十分な所がある ・生け垣や庭木のない丸見えの家 <p>〈悪いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段丘の緑の破壊が見られる ・自販機がむき出しのまま ・農村に合わない屋根の色 ・畦畔(けいはん)のコンクリート化や除草剤処理  <p>緑の多い住宅地</p>	<p>◆水沢地区 (17日午後)</p> <p>〈良いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乙女川の並木やZホール前の緑地 ・羽田、黒石の里山景観 ・長光寺、めがね橋周辺の景観 <p>〈気になるところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいサインの設置 ・まちなかの空き店舗 ・国道沿いの看板乱立 <p>〈悪いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の剪定(せんてい)が悪い ・電線が入り乱れている ・空店舗のシャッターに落書きがある  <p>長光寺、めがね橋付近</p>
<p>◆江刺地区 (18日午前)</p> <p>〈良いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地の里山風景 ・武家屋敷の保存 ・向山公園展望台などからの眺望 <p>〈気になるところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山の桜を残すべき ・資材置き場の工夫が必要 ・街路樹の管理と樹種選定 ・農業施設の景観的配慮不足 ・観光地の自販機 <p>〈悪いところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地内共用部分の管理不足 ・町中に廃屋が放置されている ・道路法面に外来雑草が多い  <p>岩谷堂男石の武家住宅</p>	<p>◆まとめ作業</p> <p>写真やメモを見ながら評価</p>  <p>とりまとめ図の例</p> 

～今後のとりくみについて～

◆第3回市民ワークショップ(平成24年1月予定)

3回目の市民ワークショップでは、2回目に行った景観点検の結果をとりまとめ、今後の奥州市の景観を考える上でポイントとなる地域や、特に守っていききたい地域などについて話し合います。話し合った内容は、各班ごとに発表を予定しています。

◆景観シンポジウム

日時 平成24年2月11日(土) 午後1時30分から

場所 胆江地区勤労者教育文化センター(水沢区佐倉河字後樋120-1)

奥州市の景観について市民の皆さんとともに考えるシンポジウムを開催します。当日は、三宅先生の基調講演のほか、景観点検結果の発表(市民ワークショップ員、岩手大学の学生)、パネルディスカッションなどを予定しています。皆さんお誘いあわせのうえ、ふるってご参加ください!!